

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 201611.25 No. 277 連絡先 042-555-1911



## オスプレイを横田基地に配備させない 11・23大集会 5,000人参加



11月23日(水・祝)午後1時30分から福生市の多摩川中央公園で開かれた大集会には「オスプレイは日本のどこにもいらない」「横田基地に CV-22 オスプレイを配備するな」と、5,000人が参加しました。

地元の「撤去の会」は、来場者の道案内などの打ち合わせで午前中から集まり配置につきました。会場に早めに着いた人々

からは、C-12 人員輸送機や C-130H が頭上を飛行するのを見て、「うるさい!」「大きいね」などの声が上がりました。肌寒い日でしたが、発言者も参加者も元気いっぱいでした。24日は雪、23日で良かったと思いました。(写真: 田中瑞穂氏)

主催者あいさつで森田稔東京地評議長は、横田基地の機能強化の実態を告発し、配備阻止に向けて「幅広い団体と力を合わせオール東京のたたかいを追求していきたい」と述べました。



## 22日はオスプレイ反対の日、猫も反対!

略称「横田基地撤去の会」は、22日を CV-22 オスプレイの横田配備に反対する日と決めて、10月から羽村駅、福生駅、牛浜駅頭でスタンディングを始めました。2回目の11月22日(火)、羽村駅には、猫の着ぐるみ君が現れ、「私は猫です。危険なオスプレイが横田基地に配備されたら大変です。みんなで反対しましょう」と訴えました。全駅で23人が参加しました。



## 11月20日(日)は第92回横田座り込み

20日は、天気にも恵まれ、88人の参加者でした。

高橋代表は、世界一危険と言われている普天間基地の飛行回数が2015年度は前年度より11%減って11,105回だったが、横田基地は11,895回で、普天間基地を上回ったこと、人員降下訓練も毎年500人規模、MV-22 オスプレイも着陸離陸合わせて146回など、横田基地の機能強化が進んでいると述べました。



## 南スーダン 新任務付与 陸自第1陣130人が 20日出発 (No. 277 の裏面)

南スーダン PKO(国連平和維持活動)に参加する陸上自衛隊 11 次派遣隊(250 人)のうち、第 1 陣の 130 人が 20 日午前、青森空港を出発しました。第 2 陣は 120 人で 11 月 30 日出発、第 3 陣は 100 人で、12 月 14 日出発です。政府は 15 日の閣議決定で、南スーダン PKO に関し戦争法＝安保法制に基づく自衛隊初の新任務として「駆け付け警護」と「宿営地共同防護」を付与。任務遂行のための武器使用が可能となりました。南スーダンの治安情勢は悪化しています。殺し殺される事態になる前に自衛隊派遣はストップを！息子の、夫の命の危険を感じないために！



### 日米共同統合実働演習＝キーン・ソード17中 キャンプ富士で 暗視ゴーグル使った訓練も

日が沈み、薄明かりが真っ黒くなるまで、横田の UH-1N ヘリコプターのメンバーらは任務を行っています。第 459 空輸飛行中隊と航空自衛隊小松基地救助飛行中隊は、キーン・ソード 17 中、上陸作戦、捜索・救援作戦及び相互作戦で、暗視ゴーグル(夜間画像メガネ)を利用して、特に山のある地域で、3 日間訓練しました。(米軍 HP より)

### 東富士演習場 オスプレイ7機の飛行(11月4日) 乗馬クラブで馬に異変

「オスプレイ」に反対する東富士住民の会」からの情報です。

11 月 4 日のオスプレイの訓練は、畑岡射場横で行いましたが、近くの乗馬クラブで馬に異変が起き、乗っていた人があわや落馬する事故が発生したかもしれない、というのです。御殿場市に市民からのメールがありました。住民の会は、①クラブ A の真上をオスプレイが低空で飛行したとき、数頭の馬が突然走り始めた。練習している人はいなかったため被害はなかった。②クラブ B では、お客さんが乗馬の訓練をしていて、馬が跳ねながら走り出した。上手な方だったので落馬しなかったが、初心者だったら落馬しただろう。等の話を聞き取りました。市に市民から苦情が殺到しました。



### 11月15日 横田基地で米軍は自衛隊と 首都大規模地震想定訓練

第 374 土木技師飛行中隊所属の消防士の演習の様子、第 374 医療グループなどが被害者の身体(肝臓、腎臓、心臓、腸、脳等)チェックする様子など米軍横田基地 HP に載っています。(上写真)

また、11 月 22 日には、UH-1N が自衛隊米陸海軍と大島で総合防災訓練(下写真)しています。10 月 20 日には、横田の第 459 空輸飛行中隊及び、第 374 医療グループが、横須賀の自衛隊中央病院で、大量死傷者演習を行いました。防災・救難などの訓練が多い。

他の訓練も激しいです。上記で紹介したキーン・ソード 17 中には他にも、横田の第 374 作業群と習志野第 1 空挺団初の共同訓練、第 374 兵站即応中隊がコンテナ射出システム調整を行い九州上空で投下訓練を行うなど、幅広く訓練が行われています。

10 月 26 日には、キャンプ富士で SERE(生き残り、脱出等)訓練も。

